

- 問1 北半球に位置するヘルシンキの気温と降水量の特徴について説明した文として、適切なものはどれですか。なお、現地の統計では1月の気温が最も低く、7月の気温が最も高い山型の曲線を示し、降水量は毎月50mmから80mm程度で安定しています。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 南半球に位置するため日本とは季節が逆になり、7月頃に気温が最も低くなる。

2. 中緯度の偏西風の影響を強く受けるため、冬季でも氷点下になることはなく、夏は乾燥する。

3. 高緯度に位置するため夏季と冬季の気温の年較差が大きく、降水量は年間を通じて比較的平均している。

4. 赤道に近い低緯度に位置するため一年中気温が高く、夏季に極端に降水量が多くなる。
- 問2 北半球にある都市の気候統計において、気温が最も高くなる7月から8月にかけての月間降水量が20mmを下回るほど少なく、逆に気温が下がる12月から1月にかけて降水量が100mmを超えるような山型の気温変化と谷型の降水変化を示す気候区はどれですか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
1. 西岸海洋性気候

2. 温暖湿潤気候

3. ツンドラ気候

4. 地中海性気候
- 問3 低緯度の赤道直下に位置する高山気候の都市と、同じく赤道直下の低地に位置する都市の気温の変化を比較したとき、高山気候の都市に見られる特徴として正しいものはどれですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. 低緯度のため日射量が多いが、標高が高いため年間を通じて気温が低く安定している

2. 周辺を流れる暖流の影響により、標高が高いにもかかわらず熱帯雨林気候と同じ気温になる

3. 高緯度に位置する地域と同様に、冬の期間が長く夏でも気温が上がらない

4. 海から遠い内陸の盆地に位置するため、夏と冬の気温差が非常に大きい
- 問4 ロシアの広大な国土に見られる自然環境と植生について述べた文として、タイガの特色を正しく説明しているものを選びなさい。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
1. 一年中氷に覆われ、夏の間だけ地衣類やコケ類が生育する荒原となっている。

2. 夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んな硬葉樹林となっている。

3. 冬の厳しい寒さに耐えられるマツやモミなどの針葉樹が広がっている。

4. 乾燥した気候に適応した、短い草が生える広大な草原地帯が続いている。
- 問5 ロシア北部の高緯度地帯を調査した資料において、現地の生活習慣を説明した文として、衣服と自然環境の関係について正しく述べたものはどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. 標高が高く空気が薄いため、酸素を取り込みやすいように軽装で過ごす工夫がなされている。

2. 昼夜の寒暖差が激しいため、日中は直射日光を遮り、夜間は保温できる麻の衣服が好まれる。

3. 冬の気温が氷点下になる厳しい寒さに耐えるため、機能的で厚い防寒具が使用されている。

4. 一年を通じて降水量が非常に多いため、防水性に優れた植物の葉を編み込んだ衣服が中心である。
- 問6 世界の宗教の分布について述べた次の説明のうち、イスラム教の特徴を示しているものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 南アジアのインドを中心に分布し、特定の地域に密接に結びついている。

2. ヨーロッパから南北アメリカ、オセアニアにかけて最も広く分布している。

3. 北アフリカから西アジア、さらには東南アジアのインドネシアにかけて広く分布している。

4. 東アジアを中心に、タイやミャンマーなどの東南アジア大陸部でも広く信仰されている。
- 問7 タイなどの熱帯地域において、雨季に集中する降水量による洪水被害を避けたり、年間を通じた高温多湿な気候の中で風通しを良くしたりするために発達した、伝統的な建築様式の特徴として正しいものはどれですか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
1. 砂漠の熱を防ぐために、日干しれんがを積み上げた平屋造り

2. 地面を掘り下げて床とし、その上に屋根をかけた竪穴式

3. 床を高く作り、地面との間に空間を設ける高床式

4. 熱を逃がさないように壁を厚くし、窓を小さくした石造り
- 問8 東南アジアの島嶼部に見られる伝統的な住居の工夫について、その地域の自然環境と関連付けて述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 広大な草原が広がっているため、家畜の移動に合わせて簡単に解体・組み立てができる住居を用いている。

2. タイガと呼ばれる針葉樹林が広がっているため、豊富な木材を利用した丸太づくりの住居に住んでいる。

3. 年中高温多湿であるため、高床式住居にして風通しを良くし、湿気や暑さへの対策としている。

4. 降水量が極めて少なく乾燥しているため、窓を小さくし、日干しれんがで家を建てている。
- 問9 世界の「食料廃棄」と「食料不足」の不均衡な現状を背景に、持続可能な社会を実現するための取り組みとして、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
1. 食料不足を解消するために、先進国での食料廃棄量を意図的に増やし、市場に出回る食料の価格をさらに下げる。

2. 食料生産量を現在の2倍に増やすことで、たとえ3分の1が廃棄されたとしても全員に行き渡るような過剰供給体制を整える。

3. 生産された食料の約3分の1が無駄になっている現状を改善するため、効率的な流通システムの構築や消費行動の変革を推進する。

4. 途上国の食料不足は人口爆発のみが原因であるため、食料の分配問題よりも人口抑制政策を最優先事項として取り扱う。
- 問10 エチオピアなどの発展途上国における人口の構成を年齢別に示した資料において、0歳から4歳の層が最も大きな割合を占め、年齢層が上がるごとにその割合が急激に減少していく形状が見られる理由として、適切なものはどれか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 出生率が低下し始めた一方で、平均寿命が延びて高齢者の割合が増えたため。

2. 出生率が高いため子供の数が多く、若年層を含む死亡率も相対的に高いため。

3. 教育の普及により、子供を産み育てる年齢層が都市部へ流出したため。

4. 感染症の蔓延によって、特定の働き盛り世代の人口だけが極端に減少したため。
- 問11 南アメリカ大陸のアンデス山脈などの高地では、標高が上がるにつれて気温が下がり、1日の寒暖差も大きくなります。このような厳しい自然環境に適応するための人々の生活の工夫について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 年間を通じて降水量が多く湿度も高いため、通気性の良い薄手の木綿の衣服を着用している。

2. 1日の寒暖差がほとんどないため、季節による衣替えの習慣がなく、常に同じ服装で生活している。

3. 強い紫外線や寒さから身を守るため、厚手の生地で作られたボンチョなどの伝統衣装を着用している。

4. 標高による変化よりも緯度による変化の影響が大きいため、熱帯の平地と同じような軽装で生活している。
- 問12 アラブ首長国連邦（UAE）の宗教別人口構成を示した統計において、国教であるイスラム教が約62%と最も多く、次いで約21%を占める特定の宗教があります。この約21%の宗教の信者が多い地域として「インド」が挙げられるとき、該当する宗教の名称として正しいものを選んでください。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. キリスト教

2. 仏教

3. ヒンドゥー教

4. ユダヤ教

答え合わせ・解説

問1	答え 3 高緯度に位置するため夏季と冬季の気温の年較差が大きく、降水量は年間を通じて比較的 平均している。	ヘルシンキは北緯60度付近の高緯度にあるため、太陽の光を受ける角度や時間の長さが季節によって大きく異なり、気温の年較差が大きくなります。降水量は、熱帯雨林のようなスコールや季節風による極端な変動はなく、年間を通して比較的安定して推移します。また、7月に気温が最も高くなるのは北半球に位置している証拠です。
問2	答え 4 地中海性気候	気温が高い時期（夏）に降水量が極端に減少し、気温が低い時期（冬）に降水が増えるという逆相関のパターンは、地中海性気候特有のものです。日本の大部分で見られる温暖湿潤気候は、夏に降水量が多くなるため、この統計データとは正反対の傾向を示します。
問3	答え 1 低緯度のため日射量が多いが、標高が高いため年間を通じて気温が低く安定している	赤道付近は年間を通じて太陽高度が高いため、季節による気温の変化（年較差）は非常に小さくなります。高山気候であってもこの性質は変わらないため、「一年中涼しい状態で安定する」という特性を持ちます。低地は「一年中暑い」のに対し、高地は「一年中涼しい」という違いがありますが、どちらも「一年中気温がほぼ一定」という共通点があります。
問4	答え 3 冬の厳しい寒さに耐えられるマツやモミなどの針葉樹が広がっている。	冷帯（亜寒帯）は、短い夏と非常に寒さの厳しい冬が特徴です。このような気候条件では、広葉樹よりも寒さに強い針葉樹が育ちやすく、シベリアから北ヨーロッパ、北アメリカ北部にかけて広大な針葉樹林帯が形成されます。なお、短い草の草原はステップ、苔などの地衣類が見られるのはツンドラ、オリーブなどは地中海性気候の植生です。
問5	答え 3 冬の気温が氷点下になる厳しい寒さに耐えるため、機能的で厚い防寒具が使用されている。	高緯度地域における生活は、その厳しい寒冷な気候に強く規定されています。特にユーラシア大陸北部のロシア付近では、冬の気温が非常に低くなるため、単に服を重ねるだけでなく、防風性や保温性に優れた毛皮や厚手の素材を用いた、機能的な防寒具を着用することが生存に直結する重要な生活の知恵となっています。他の選択肢にある「標高の影響」は高山気候、「降水量の影響」は熱帯雨林気候、「昼夜の寒暖差」は乾燥帯（砂漠）などの特徴を説明したものです。
問6	答え 3 北アフリカから西アジア、さらには東南アジアのインドネシアにかけて広く分布している。	イスラム教はアラビア半島で誕生した後、西アジアや北アフリカへ広がりました。その後、交易などを通じて東南アジアにも伝わり、現在ではインドネシアが世界最大の信者数を抱える国となっています。他の選択肢はキリスト教、仏教、ヒンドゥー教の説明です。
問7	答え 3 床を高く作り、地面との間に空間を設ける高床式	タイのような熱帯の地域では、雨季に降水量が急増し、河川の氾濫や浸水が起こりやすくなります。これを防ぐために、住居や倉庫の床を高くする「高床式」が採用されてきました。また、この構造は床下の風通しを良くするため、一年中高い気温の中で湿気や暑さをしのぐ生活の知恵としても機能しています。特に収穫した作物を守るための高床式倉庫などは、日本の弥生時代などとも共通する、湿潤な気候への適応例です。
問8	答え 3 年中高温多湿であるため、高床式住居にして風通しを良くし、湿気や暑さへの対策として いる。	世界の諸地域では、その土地の気候や地形に合わせて住居の形式が発展してきました。インドネシアなどの東南アジア島嶼部は熱帯雨林気候に属し、多雨で蒸し暑い環境にあります。そのため、風通しを最優先した高床式の構造が選ばれています。一方で、乾燥帯では日干しれんが、モンゴルのような乾燥した草原では移動式の住居、ロシアのような冷帯では丸太小屋（イヅバ）といったように、それぞれ異なる工夫が見られます。
問9	答え 3 生産された食料の約3分の1が無駄になっている現状を改善するため、効率的な流通システムの構築や消費行動の変革を推進する。	年間約13億トンにもものぼる食料廃棄は、環境負荷の増大（廃棄処理に伴う温室効果ガスの排出など）を招くだけでなく、飢餓に苦しむ約8億1500万人の人々へ資源を適切に分配できていない倫理的な問題も内包しています。SDGs（持続可能な開発目標）においても、小売・消費レベルでの世界全体の食料廃棄を半減させることが目標として掲げられており、生産から消費に至るまでのサプライチェーン全体での見直しが求められています。
問10	答え 2 出生率が高いため子供の数が多いが、若年層を含む死亡率も相対的に高いため。	人口ピラミッドの底辺が広いのは出生率の高さを表し、上に行くほど幅が狭くなるのは、栄養状態や衛生環境の影響で死亡率が高いことを示しています。このような富士山型の形状は、多産多死の社会で顕著に見られる特徴です。
問11	答え 3 強い紫外線や寒さから身を守るため、厚手の生地で作られたポンチョなどの伝統衣装を着用している。	アンデス山脈のような標高の高い地域では、空気が薄いために地表の熱が逃げやすく、日中と夜間の気温差（日較差）が非常に大きくなります。また、大気が薄いことで太陽からの紫外線も直接的に届きやすくなるため、人々はこれらを防ぐために保温性の高い厚手の伝統衣装を着用して生活しています。降水量や緯度による影響よりも、標高に伴う気象変化が生活様式を決定づける大きな要因となっています。
問12	答え 3 ヒンドゥー教	アラブ首長国連邦は西アジアのイスラム教圏に属していますが、急速な経済開発に伴い、インドなどの南アジア諸国から多くの外国人労働者を受け入れてきました。その結果、インドで最も多くの信者を持つ宗教が、アラブ首長国連邦の人口においても約5分の1を占めるという独特の人口構成となっています。